

平成25年度後期 授業改善アンケート教科別集計結果(前後期比較表)

【アンケート項目】

A あてはまる B だいたいあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない

- ① 授業はわかりやすい
- ② 勉強に集中できる雰囲気での授業である
- ③ 板書やプリントは見やすく工夫されている
- ④ この授業で力がつく。(体育・芸術→この授業で技能が向上する。)
- ⑤ 先生の声や話す速さはどうですか？(Aちょうどよい B普通 Cやや聞きづらい)
- ⑥ 授業の進む速さはどうですか？(Aちょうどよい B速い C遅い)
- ⑦ 生徒に理解させようと熱心に授業を行っている
- ⑧ 授業を受けて、この科目に対する興味・関心が高まった
- ⑨ 自分は授業に真剣に取り組んでいる
- ⑩ 自分は予習・復習をして授業に臨んでいる

※注意

- 体育 ③、⑥、⑩はなし
 情報 ⑩ 自分の情報処理技能が向上した
 家庭 ⑩ 提出物はきちんと書いて期日も守っている
 芸術 ③、⑩なし

【集計結果から読み取れる本校後期の現況】

- 1 前期同様、ほとんどの項目で肯定的評価(A、Bを合わせた数値)が高い。
これは本校教員の授業が一定程度評価されていることを示しているが、今後も教科内や全教員による授業研究、研修会への参加等の取り組みを継続し、教員の授業力向上を目指さなければならない。
- 2 項目④についても生徒の評価は高いが、常に外部テスト等の結果との相関を比較検証し、外部テスト等の結果の伴わない教科の授業改善を図っていかなければならない。
- 3 項目⑩の数値が前期比較では向上しているが、他の項目に比べると依然として低い。
授業は、生徒の思考力・判断力・表現力を伸ばす場であり、そのためにも家庭学習(予習復習)が不可欠である。単にわかりやすいだけの授業ではなく、家庭学習を必要とする授業、そしてそれを基に生徒が考え、学力をつけることのできる授業の研究を一層進めなければならない。







